

熱帯魚類300匹スイスイ 水槽お披露目 駅ニ彩り

上越・直江津 「水族館のまち」発信



鮮やかな熱帯魚がゆらめく水槽=15日、上越市

熱帯魚類300匹スイスイ

「活性協議会」が市の補助金も活用して設置した。

色とりどりの熱帯魚など約300匹を入れた水槽が上越市の直江津駅に設置され、15日に除幕式があった。直江津地区では2018年にリニューアル予定の市立水族博物館を生かしたまちづくりが進められており、訪れた人に「水族館のまち」をアピールする。

水槽は幅2㍍、高さ45㌢、奥行き60㌢で、駅自由通路の北口近くに設置された。カクレクマノミやナンヨウハギなど小型の熱帯魚を中心とした展示である。心に11種類の生き物が淡いライトに照らされ、優雅に泳いでいる。

地元商店街関係者らでつくる「直江津まちづくり活性化につなげたい」と述べ、村山秀幸市長は「水族博物館を生かしたまちづくりがさらに進む」と期待した。

この日は、駅構内で「なまこえつ鉄道まつり」が開催され、訪れた多くの親子連れが水槽を囲み「かわいい」「きれい」などと声を上げていた。

「活性化協議会」の設置を目指しており、協賛金を募集している。問い合わせは協議会事務局、070(5460)1793。

店街や上越妙高駅でも水槽